

# 大高同窓会報

## 発行

### 千葉県立大多喜高等学校同窓会

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481  
〒298-0216 TEL 0470-82-2621  
学 校HP <https://cms2.chiba-c.ed.jp/otaki-h/>  
同窓会HP <https://dousokai.site/otaki-h/>  
E-mail otaki-h@chiba-c.ed.jp

印刷 (株) サラト  
姫路市北条宮の町172番地  
TEL 079-284-1380



## 会長挨拶 雑感 ― この頃 ―

同窓会長 猿田 寿男 (昭42高)

梅雨空（今日は7月22日）も伴い、コロナ禍で先の見えない「暗い憂鬱」な時代となりました。同窓会員の皆様方にはお元気でお過ごしのこととお喜び申し上げます。これまで私などは、やれ経済の活性化がいまいちだとか、グローバル社会の中で米中のいがみ合いを見てやはり世界は「カオスの時代」になっているのかなどと悠長に考えることはありましたけれど、今度のコロナの出現で驚愕し、日本いや世界中が大混乱の極みに陥ってしまいました。これから第二波、三波のパンデミックが襲って来るだろうと不安を抱えながらおそろおそろ忍び足で進むしかないだろうと思います。高齢世代の私などにとりましては、巣籠もりに比重を移しながら今こそ自分で考え行動する“自己責任”が一層求められるのでありましょう。会員の皆様方も楽しい気持ちを持ちながらも我々日本人の特性である衛生概念、静かな態度、品格ある優位性でキリッとした行動原理、新しい生活様式でこの難局を乗り越えましょう。

さて、新型コロナにより、教育活動も大きな影響を受けることとなり、国の要請による一斉臨時休校が実施され、その後も緊急事態措置により大部分の学校が5月末

まで臨時休校する事態となりました。大多喜高校においても令和元年度卒業式と令和2年度入学式はコロナ感染予防の観点から規模を縮小して行われました。そのため、私も出席が叶いませんでしたが、卒業生の皆さんにおかれては、大多喜高校の卒業生としての誇りを胸に新しい社会でも強く自信を持って御活躍されますよう期待します。特にこれからの厳しい社会においては「課題解決型の人材」、「困難に立ち向かう人材」が求められますので、その方向で努力してくれることを願っております。また新入生の皆さんにおかれては、大多喜高校の歴史と伝統を大切にしながら、それぞれの目標の実現に向かって頑張っていってほしいと思います。さて、大多喜高校は本年創立120周年を迎えます。これに伴い、この輝かしい節目の年を皆で祝うため、創立120周年記念式典を本年11月4日に挙げる予定です。今後も大多喜高校の更なる飛躍に向けて皆で力を合わせて頑張っていきたいと思います。

結びに、川崎校長先生をはじめ、諸先生方の教育に対する情熱に敬意と感謝を申し上げますとともに、母校の一層の発展並びに同窓会員の皆様様の御健勝と御多幸、御活躍を祈念し挨拶いたします。



## 創立120周年にあたって

校長 川崎 浩祐

同窓会会員の皆様方には、日頃より母校の教育活動に多大なる御支援を賜り、厚く御礼申し上げます。また、生徒募集に関して様々な方から御心配や激励のお言葉をいただき、このことに関しても重ねて御礼申し上げます。

本校は、明治33年（1900年）4月に、大多喜城跡に千葉県大多喜中学校として創立されました。

以来今日まで、一貫して夷隅郡市はもとより長生郡市や市原市等から意欲あふれる生徒を受け入れてまいりました。平成12年11月に創立100周年記念式典を挙行し、平成16年4月には大多喜女子高等学校と統合し、今日

に至っております。

新型コロナウイルス感染症の流行及び、全国に出された緊急事態宣言により、今年度は5月31日まで休校措置、6月からは分散登校により学校生活が始まりました。そんな中、令和2年度は、創立121年目を迎えますが、生徒は以前と同様、真面目で礼儀正しく、落ち着いた雰囲気です。生徒は新しい生活様式が始まり初めは戸惑いもありましたが、手洗いやソーシャルディスタンスを意識しての対話など、他人に気遣いができる大高生のよさが定着しつつあります。

昨年度より本校では「総合的な探究の時間」における

地域との協働カリキュラム「大高探究」において、地域の課題をテーマとした探究活動を行っています。昨年度の出前講座やフィールドワークでは大多喜町役場、いすみ鉄道、大多喜城、大多喜ガス等の方々に大変お世話になりました。令和2年度は教育課程の特例科目として「大多喜と現代社会」を研究開発し、こちらでも地域の方々にお世話になっております。本校の教育活動に関わっていただいている地域の方々の中には大多喜町町長飯島様を始め、同窓会会員の皆様方も多くいらっしゃり、たくさんの方にお力添えいただいております。さらに「大多喜共創プロジェクト」内の「いすみ鉄道活性化プロジェクト」「大多喜町・読書活動プロジェクト」「大多喜町・元気プロジェクト」「インターンシップ・ボランティア推進プロジェクト」により、課題解決に向けた具体的な実践に仲間や異なる世代の方々と協働して取り組むことで、より社会とのかかわりが深まり、視野の広がりや、学びの深さ、さらには社会のために役立とうと

する意識が醸成され、主体的に生きる力の育成につなげていけるものと考えております。これらの取組みを通して、たくさんの方々に関わっていただきながら課題発見力・課題解決力・自己表現力などの育成に努めるとともに、新たな時代の担い手となる生徒を育てるための活動をしています。

生徒には、120年の歴史と伝統に輝く「大高生」として、自覚と誇りを持ち、伝統を受け継ぎ、そして新たな創造を目指して、真の「生きる力」を身につけ、国内のみならず、「夷隅は遠く世界を目指す」の気概を持ち、世界に大きく貢献できる人材としてたくましく成長することを期待しています。

終わりに、同窓生の皆様には今後とも母校のために変わらぬ御支援・御協力を賜りますよう、また併せて皆様方の益々の御発展を祈念申し上げて御挨拶とさせていただきます。

## 創立120周年の節目を迎えて

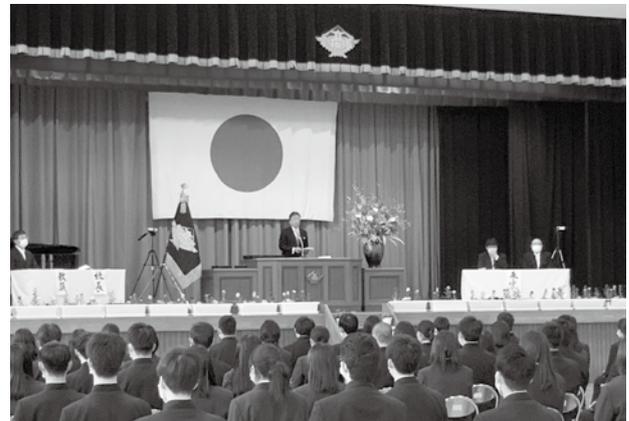
～大多喜高校の様子をお伝えします～

新型コロナウイルス感染症の流行及び、全国に出された緊急事態宣言により、3月4日（水）から5月31日（日）まで学校が休校となりました。休校中学生徒は、自宅にて自粛生活を余儀なくされ、その中で学習面では、学校から出される課題及び先生方が作成した動画を視聴するなどして学習を進めました。部活動は、本来なら5・6月は、運動部の大会、文化部も文化祭やコンクールなどがあり活気のある時期であります。このような状況で大会やコンクールが中止になり学校はさみしい限りです。

この期間中に規模を縮小し、3密が起きないように配慮し3月に卒業式、4月に入学式を挙げてまいりました。

卒業式は、卒業生と本校職員の参加で、在校生と保護者、来賓が参加しない形で実施しました。いつもですと同窓会長からお話をいただくところですが、残念でした。そのような状況ですが、本校職員による卒業の歌を合唱し卒業生の門出を祝いました。会場は温かい雰囲気に包まれました。同窓会入会式も代表生徒のみの参加で行いました。卒業生の今後の大いなる飛躍を心から祈念いたします。

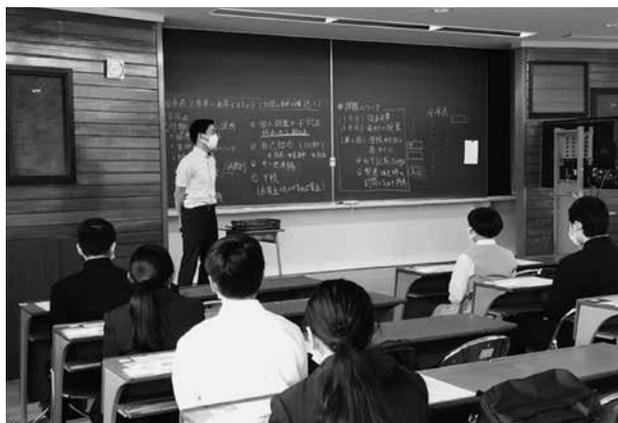
入学式も規模縮小により短時間での実施となりました。式には、新入生、保護者と本校職員の参加で、155名の新入生を迎えました。1学年の担任・副担任などの紹介後ホームルームが行われ、3密を避けるため短



時間での実施となりました。新入生は、入学後、緊急事態宣言のため6月まで登校はありませんでしたが、

6月からの分散登校日を含めて学年職員のきめ細やかな指導により学校生活に慣れつつあります。

6月前半は各クラス半数ずつが1日おきに登校するという分散登校が行われました。少しずつ新しい生活様式に対応しながら学校生活が行われ、7月には各部活で3年生の引退セレモニーが行われました。写真は進路説明会、新入生クラスの様子や分散登校中の昼食風景です。大多喜高校の生徒達は感染予防に努めながら学校生活を慎ましく送っていますが、気が付いてみると以前の生徒達と変わることはなく、穏やかに時間が過ぎていきます。同窓生の皆様が学生だったころと変わらないのかもしれませんが。



## 支部・OB会だより

### ▶▶ 大多喜支部

支部総会は五月末に中央公民館で開催予定でしたが新型コロナウイルス感染症の関係で開催する事が出来ませんでした。

支部の皆様には大変ご迷惑をおかけしてしまいました。事業、予算執行については計画通り実施出来ました事を報告させていただきます。しかし、総会時に学校側からの近況報告、百二十周年記念事業計画(案)についてお聞きしたい思いがあり少々残念な思いがありました。このような中ですがコロナ感染終息を見ながら開催

を検討したいところですが現状はそういう状態ではない様に思われます。

本年度の事業について特筆する事はなく例年の計画を作成したところです。

支部主催の親睦ゴルフコンペを十月二十八日に大多喜カントリー倶楽部で開催を予定しており友好を深めたいと思っています。コロナ感染も終息し十月二十五日の総会には支部をあげて出席したいと思っています。

大多喜支部長 野村 隆夫

### ▶▶ 女子高支部

女子高支部では5月24日に総会を予定していましたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止しました。例年明善祭、いすみ鉄道マンドリン演奏等学校行事に参加してきましたが、中止や未定となりました。

支部役員会も休止している状況です。今後1日も早く平常の学校生活に戻ることを祈りつつ支部として協力して行きたいと思っています。

### ▶▶ 大原支部

大多喜高校同窓会大原支部では、再結成後10月で満4年を迎え、ようやく5年目に入ります。現在支部長の青柳英俊(昭38卒)さんを中心に、副支部長の藍野常司(昭43卒)を始めとして地区別に役員を配置し、支部内の同窓生の輪がより大きく和やかなものになる

よう努力しております。

今年度の支部総会の予定は、下記の通りですので、旧大原町エリアに在住する方であればどなたでも歓迎致しますので、連絡をお待ち致しております。

- 1、期 日 10月11日(日) 18時より
- 2、場 所 いすみ市小沢 諏訪神社脇  
お食事処 藤与し  
(0470-63-0616)

3、会 費 3,000円  
**出席の連絡先**  
 新井洋一携帯宛 090-7566-0351でお願いします。  
 準備の都合上10月6日(火)迄にご連絡下さい。

### ▶▶ 岬支部

#### 令和2年度同窓会岬支部総会・懇親会のお知らせ

- 日 時 令和2年10月17日(土)  
午後6時から
- 場 所 「ひかり寿司」 いすみ市岬町椎木1258  
電話 0470-87-5150
- 総 会 令和元年度会計報告 役員改選、  
その他議事  
母校からの近況報告  
(学習・部活動・社会活動等)
- 懇親会 総会終了後 会費6,000円  
※お問い合わせ、お申し込みは、下記までお願い  
します。
- 連絡先  
TEL 090-4831-1986 矢代 一秀 (高21回 昭44)  
TEL 090-5334-3011 浅野 友之 (高32回 昭55)

令和元年度同窓会岬支部総会は、支部特別顧問太田洋いすみ市長、母校から同窓会事務局佐藤裕洋先生をお迎えし、支部会員22名で開催しました。  
 平成30年度会計報告、母校からの近況報告、母校支援について提案があり、すべての議案が満場一致で承認されました。  
 懇親会では、久しぶりの再会に、話がはずみ和やかなひとときをすごしました。会員から「野球部の応援に行ってきた」とか「いすみ鉄道の駅清掃に参加している」といった声もありました。  
 今回出席の皆様より3万円の母校支援金を拠出していただきました。

### ▶▶ 経友会報告

令和2年6月24日、大多喜カントリークラブを会場に、第73回経友会ゴルフコンペを開催しました。当日は、霧雨模様の中でしたが、15名の参加者は、プレーを楽しみ、充実した時間を過ごしました。  
 参加者は、昭和29年度卒業の3名から平成13年度卒業の若手まで、老若相集い、同窓会のゴルフにふさわしいものとなりました。昭和29年度卒業の3名の先輩方は、今年84歳になられますが、皆さんお元気でつらつとプレーしていたのが印象的でした。  
 経友会は、当初、郷里を離れた同窓生が、母校への支援と会員相互の親睦を目的に発足しました。現在は、

同窓生であればどなたでも行事等への参加を歓迎いたします。  
 現在は、主として年2回(春・秋開催)のゴルフコンペを実施しております。コンペは、開催毎に母校近くのゴルフ場を会場に行われております。

- |       |               |
|-------|---------------|
| 経友会役員 |               |
| 会長    | 引田紘一 (S33年度卒) |
| 幹事    | 秋田幸一 (S46年度卒) |
| 幹事    | 太田雅彦 (S58年度卒) |

### ▶▶ 大高卓友会(卓球部OB会) 活動報告

大高卓友会(会長 酒井敏立 昭33年卒)は、大高卓球部の技術の向上、経済的支援及び会員相互の親睦を図ること等を目的として組織され、会員は第1回の卒業生から本年3月の卒業生まで300名を超えています。  
 主な事業として現役選手の県内外遠征合宿、全国大会等出場時の支援、全日本選手権大会の見学及び近隣中学生指導講習会を行う他、公式大会には会場にて激励・応援も行っています。  
 特に、近隣中学生の卓球技術の向上を図り、もって大高卓球部の強化を目的として平成13年度から元全日本チャンピオンを始め一流の指導者や第一線で活躍する現役選手を招いて開催している「近隣中学生指導講習会」は、有意義な事業となっています。  
 大高卓球部は、創部以来、学校対抗(団体戦)個人戦において伝統校にふさわしい成績を残しています。最近においても女子は平成28年度には千葉県高等学校総合体育大会卓球大会女子シングルの部で石井優佳さんがベスト8に入りインターハイ進出を決めたり、平成23年度から女子団体は3年連続で関東大会出場し



「近隣中学生指導講習会の様子」

ています。男子団体も県ベスト8にこの数年入賞しており、活躍を本会としてうれしく思っております。大高卓友会としては、こうした伝統の灯を守り卓球部が益々活躍できるよう今後とも積極的に支援してまいります。

▶▶ 第19回近隣少年サッカー大会が開催

12月14日(土)、大多喜町海洋センター多目的広場で、第19回大多喜町近隣少年サッカー大会が開催されました。

この大会は、子どもたちにスポーツ実践の機会を与え、体力・技術の向上と合わせ、友達の輪を広げることなどを目的に、大多喜高等学校サッカー部OB会(会長鈴木栄治)が毎年開催しているものです。

今大会も、夷隅郡市内を中心に16チームが参加し熱戦が繰り広げられました。

第8回大会(平成20年)が初出場で、今回で9回目の出場を果たした茂原SCが1回戦から相手チームに得点を許さず順当に決勝戦へ進出、また別のサイドからは第6回、第7回、第15回大会で優勝している大多喜小が勝ち進み茂原SCとの強豪対決となりました。

大勢の保護者が見守る中、選手たちは一生懸命相手コートに攻め入り、とても緊迫したゲーム展開となりました。

その結果、やはり相手チームに得点を許さなかった茂原SCが2対0で大多喜小を破り大会初優勝を飾りました。



選手に激励を贈る宇野大多喜町教育長

試合結果

優勝 茂原FC  
準優勝 大多喜小学校  
3位 長南グリーンウエーブ

▶▶ 昭利55年3月卒業(第32回) 第7回同期会延期について(お知らせ)

4年ごとのOlympic year(オリンピックイヤー)である本年11月に開催を予定しておりました同期会は、新型コロナウイルス感染症の現状を鑑み、参加者皆様の安全と感染拡大防止を最優先に考え、来年2021年へ延期させていただきます。

昭和55年3月卒業(第32回)  
同窓会事務局代表 久我洋一  
昭和55年3月卒業(第32回)  
第7回同窓会幹事岬地域事務局一同

平成30年度 同窓会決算書

【一般会計】

収入総額 4,820,784円  
支出総額 2,475,080円  
差引残額 2,345,704円(次年度へ繰越)

収入の部 単位:円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	2,761,828	2,761,828	0	前年度繰越金
入会金	750,000	750,000	0	5,000円×150名
賛助金	1,400,000	1,228,940	△171,060	同窓会報発行賛助金
雑収入	22	80,016	79,994	寄付金、預金利息
計	4,911,850	4,820,784	△91,066	

支出の部 単位:円

科目	予算額	決算額	残額	説明
会議費	250,000	95,261	154,739	総会補助、役員会議費
運営費	150,000	77,201	72,799	事務費、通信費
活動費	600,000	412,000	188,000	支部活動費、旅費等
広報費	2,000,000	1,890,618	109,382	同窓会報発行代
予備費	1,911,850	0	1,911,850	
計	4,911,850	2,475,080	2,436,770	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。  
令和元年9月6日

監査 地引敬次 @

監査 渡邊雅文 @

【特別会計】

収入総額 1,797,141円  
支出総額 0円  
差引残額 1,797,141円(次年度へ繰越)

収入の部 単位:円

科目	予算額	決算額	増減額	説明
繰越金	1,795,127	1,795,127	0	前年度繰越金
繰入金	0	0	0	
雑収入	13	2,014	2,001	預金利息、記念誌販売代
計	1,795,140	1,797,141	2,001	

支出の部 単位:円

科目	予算額	決算額	残額	説明
繰出金	0	0	0	
予備費	1,795,140	0	1,795,140	
計	1,795,140	0	1,795,140	

監査報告書

諸帳簿並びに証拠書類を精査したところ、適正であることを認めます。  
令和元年9月6日

監査 地引敬次 @

監査 渡邊雅文 @

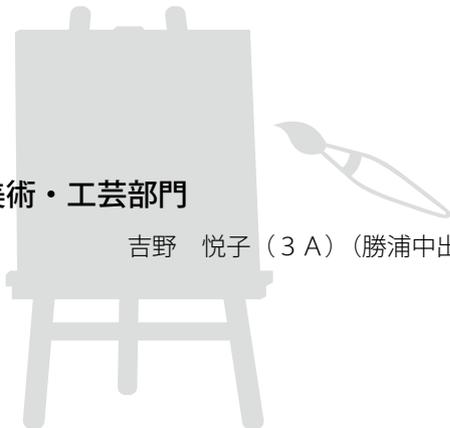


# 部活動状況

## 令和2年 第44回全国高等学校総合文化祭

### 美術・工芸部門

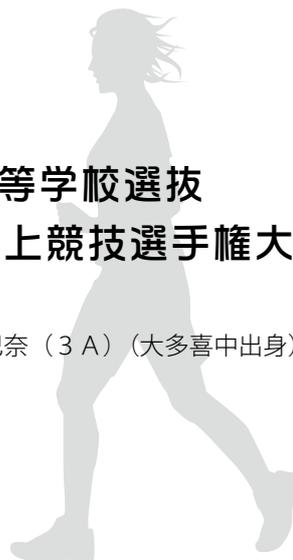
吉野 悦子 (3A) (勝浦中出身)



## 令和元年度関東高等学校選抜 新人陸上競技選手権大会

女子5000m競歩出場

齊藤 巴奈 (3A) (大多喜中出身)



体 育 系	男	女	合計
柔 道	7	1	8
剣 道	11	2	13
陸 上 競 技	15	16	31
弓 道	16	15	31
野 球	24	3	27
ソフトテニス	15	15	30
バレーボール	17	11	28
バスケットボール	11	10	21
サッカー	17	3	20
卓 球	12	5	17

文 化 系	男	女	合計
生 物	16	0	16
美 術	5	10	15
書 道	1	7	8
マンドリンギター	2	19	21
演 劇	7	12	19
英 語	0	8	8
吹 奏 楽	14	27	41
茶 道	4	26	30
全 合 計	194	190	384

# 令和元年度進路状況報告

進路指導主事 森 裕香

## 令和元年度を振り返る

進路決定状況としては、大学が全体の約50.3%、短大が約10%、専門学校が約30%、就職(含公務員)が約10%という割合となり、過去2年と比較すると、4年制大の割合が若干減少し、専門学校および就職の割合が増えている。

私立大に関しては、県内大学を志望する生徒が多く、83名中56名が進学した。また、淑徳大が11名、国際医療福祉大7名、千葉工大5名、玉川大5名等、同一の大学を志願し、進学する生徒が多かったことも特徴的であった。

全国的に、令和3年度からの新入試制度への切り替えを前に、現役での合格を最優先させる“超絶安全志向”の傾向が明確となった元年度の入試であったが、本校においても同様に、指定校推薦での志願者が増えた。

就職に関しては、公務員試験受験の結果を受け、民間就職に切り替えたケースもあり、初期からの対策の重要性をあらためて実感する結果となった。

## 昨年度の進路指導の概要

- (1) **進路説明会** (3年) 4月  
外部講師等による分野別(大学・短大、看護医療、専門学校、公務員、民間就職)進路説明
- (2) **2年進路説明会** 4月  
大学・短大・専門学校・民間就職・公務員の進路説明
- (3) **夏期・冬期実力養成講座・進学課外授業・公務員講座** (全学年)
- (4) **看護・介護・福祉体験、県庁インターンシップ、大多喜町インターンシップ・小中学校サマースクール学習支援ボランティア等** (全学年) 7・8月
- (5) **上級学校見学** (1年) 10月  
都内を中心とした大学・専門学校を見学
- (6) **保護者進路講演会** 11月  
渡井 謙 氏「社会の変化と新入試・進路選択について～ご家庭としてできること」
- (7) **1・2年大学出張講義体験会** (1、2年) 11月  
神田外語大・聖徳大・駒澤大・千葉工大・国際医療福祉大・千葉県立保健医療大・淑徳大・千葉経済大・千葉敬愛短期大学部
- (8) **2年公務員説明会** (1、2年) 12月  
外部講師による説明
- (9) **進路講演会** (全学年) 1月  
御厨 雄二氏「社会の変化と新入試・進路選択について」

(例年卒業式後に行われている卒業生による「進路報告会」は、新型コロナウイルス対策に伴い、残念ながら中止となった。)

## 令和元年度卒業生主な進路先

### 〔4年制大学〕(50音順)

千葉県立保健医療大・植草学園大・大妻女子大・学習院大・神奈川大・鎌倉女子大・亀田医療大・神田外語大・敬愛大・工学院大・國學院大・国際医療福祉大・国士館大・駒澤大・淑徳大・城西国際大・清和大・拓殖大・玉川大・千葉経済大・千葉商科大・千葉工大・中央学院大・中央大・鶴見大・帝京科学大・帝京大・帝京平成大・東京情報大・東京電機大・東京理科大・東邦大・東洋大・日本大・武蔵大・明海大・立正大・了徳寺大

### 〔短期大学〕(50音順)

千葉経済大短期大学部・千葉明德短大・戸板女子短大

### 〔専門学校〕(順不同)

千葉県立鶴舞専門・君津中央病院附属専門・千葉青葉看護専門・二葉看護学院・東京医薬専門・北原学院千葉歯科衛生専門・千葉医療福祉専門・千葉医療秘書専門・東京公衆衛生学院・昭和医療技術専門・東京法律専門・大原簿記公務員専門・神田外語学院・東京デザイナー学院・国際理工情報デザイン専門・日本デザイナー学院・日本工学院専門・千葉調理師専門 他

### 〔公務員・民間就職〕

大多喜町役場・陸上自衛隊・海上自衛隊・日本郵便株式会社・亀田総合病院・千葉銀行・夷隅東部漁業協同組合 他

### ◇令和元年度卒業生進路状況

	大学		短大		専門 学校	就職		浪 人 ・ 他	合 計
	国 公 立	私 立	国 公 立	私 立		民 間	公 務 員		
男	0	48	0	0	18	6	3	8	83
女	1	31	0	5	30	5	2	2	76
計	1	79	0	5	48	11	5	10	159

# 事務局だより

## ●令和元年度 年度末人事異動

### 《転出・御退職された先生方》

- 江澤登美江 H29～ 3年間 御退職
- 野口 和雄 H25～ 7年間 大原高等学校 再任用
- 西 友夫 H31～ 1年間 松尾高等学校 再任用
- 尾形 保夫 H30～ 2年間 大多喜高等学校 非常勤講師
- 高橋 務 H27～ 5年間 匝瑳高等学校
- 西川 昇真 H27～ 5年間 八千代西高等学校

### 《着任された先生方》

- 長谷川 清 成東高等学校 再任用
- 西山 博久 幕張総合高等学校 再任用
- 齋藤 大資 松尾高等学校
- 安原 大史 新規採用
- 丸 美由紀 大原高等学校
- 御園生栄子 大網高等学校



## ●異動連絡のお願い

住所等の異動の折には郵便はがきなどで同窓会事務局にご連絡ください。同窓会関係の郵便物が宛先不明で返送されますと会員名簿上での住所は空欄となります。同窓会事務局では少しでも正確な情報を把握しておきたいと考えておりますので、ご協力よろしくお願い致します。

## ●原稿募集のお願い

同期会・クラス会・OB会等を開催されましたら、会報に掲載しますので、ご連絡をお願い致します。また、同窓会報の『同窓生の声』に寄稿いただける方がいらっしゃいましたら、同窓会事務局へご連絡ください。

千葉県夷隅郡大多喜町大多喜481 TEL 0470-82-2621  
千葉県立大多喜高等学校同窓会

## ●個人情報について

個人情報についてですが、同窓会員の情報は(株)サラトにて一括管理されています。これは、会報の発行や名簿作成のためです。それ以外の使用は一切行っておりませんのでご承知ください。

## ●役員名簿

会 長	猿田 寿男 (昭42高)	
副 会 長	福山 悦男 (昭29高)	
	近藤 万芳 (昭32高)	
	太田 洋 (昭41高)	
	加藤 茂範 (昭45高)	
	中村美智子 (昭49女)	
監 事 (会計監査)	地引 敬二 (昭41高)	
	渡邊 雅文 (昭43高)	
顧 問	齋藤 萬祐 (昭32高)	
	山口 登 (昭37高)	
支 部 長	大多喜	野村 隆夫 (昭41高)
	大 原	青柳 英俊 (昭38高)
	勝 浦	猿田 寿男 (昭42高)
	茂 原	村杉 仁 (昭31高)
	千葉 (千葉大高会)	福山 悦男 (昭29高)
	岬	矢代 一秀 (昭44高)
	女子高	中村美智子 (昭49女)

【支部長は各支部で選出していただいています。】

## 令和2年度 同窓会総会のお知らせ

日時 10月25日(日)

場所 勝浦ホテル三日月

今年度は懇親会を行いませんので、  
時間を変更します。

詳しい日時は案内のハガキと

ホームページでお知らせします。

(大多喜高校内・同窓会事務局)

## ト 話 題

### 令和元年度

・本校の「総合的な探究の時間」の取組みやいすみ鉄道への支援活動が新聞などに取り上げられました。今後も積極的に取り組んでいきます。

### 令和2年度

・11月4日(水) 120周年記念式典を予定しております。

・大多喜高校同窓会のHPが出来ました。

<https://dousoukai.site/otaki-h/>

支部やOB会などの話題なども載せることが出来ればと思っています。ご覧になってください。